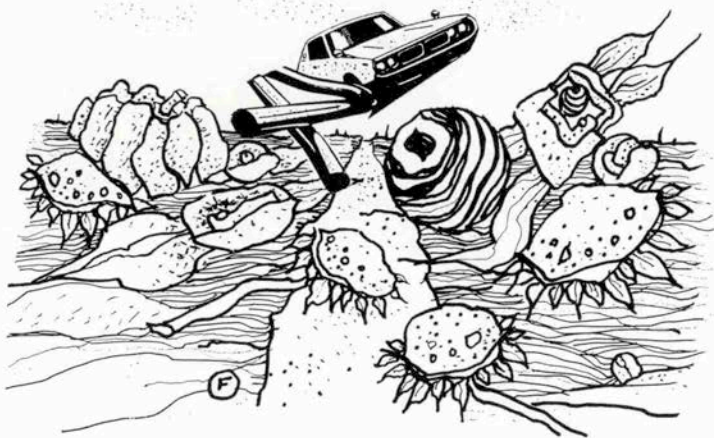




鄭承博  
作家

## ある芋畑の生涯

### 随想——秋に想う



カット/藤原 向意

今年も減反政策にはかかわりなく米の大豊作らしい。ここ淡路島の水田にも重そうな稲穂が深々と垂れてきた。私はこの時期になると、いつも戦前戦後の食糧事情が極度に緊迫した時代を思い出す。米などは「銀しやり」とかいって、とても貧乏人の口には入らなかった。

終戦になってから間もなくである。秋にはなったが、町の中でじ

つとしていたのでは野菜のひと株も買えない。みなと同じように私も自転車を押して買い出しに出かけた。なかなか買えない。知人が縁者でも訪ねてゆけば別だが、疎開で都会から流れて来た見ず知らずの者に、何一つ売ってくれるはずもなかった。

農村地帯をさ迷い歩いて疲れ切ったときである。とある山麓で一人芋を掘っている老人を見つけた。ここぞとばかりに駆け寄ったが相変わらずこの老人も相手にしてくれない。

「もうとつくに予約済みだ。町から親戚や知り合いがひっきりなしにやってくる」

とはつきり言い切ってしまう。私は途方にくれた。ねばりにねばった揚げ句、やつと時刻になってからくず芋を四、五キロ売ってもらった。しかしこれがきつかけである。その翌年も、そしてまたその翌年の秋も、この畑を訪ねて行った。

もう芋とは縁が切れてから三十年に近い。その間にこの畑も幾多の変遷を遂げてきた。あるときは茶畑に、またあるときはみかんの木が植わっているのを見たこともある。つい先年、とうとうこの辺一帯は宅地に造成された。いまは近代的な住宅団地である。

さつま芋なんかはもう相手にさ

れなくなったので茶を植えたのであろう。これも大産地に押されてものにならない。年数をかけて育てたみかんも、木がやつと大きくなった頃には、もう値段が暴落していた。ついにはブルトーザーに突きならされて宅地にされたに違いない。すでにどの家にも車庫まで備えた高級住宅が並んでいる。

ごく最近もこの近くを通りかかった。私はいまだに飢えをしのいだあのときの芋畑がはつきり浮んでくる。ちょうど老人と初めて逢った辺りには洋風の家が建っていた。前の花壇にはいろいろな花も咲いている。もうここがもとの芋畑に戻ることは永遠にあるまいと思ひながら眺めた。

さつま芋以外には何を作っても大成しなかった畑である。役に立たなくなったものは、しよせん潰される運命かも知れない。今年も近くの水田では豊作の稲穂が秋風に波を打っていた。減反の憂き目に相いながらも、やはり「銀しやり」である。近年めっきり白髪が増えて、頭の冴えもさっぱり悪くなった自分を、思わず振り返らずにはいられなかった。

## 蜜柑狩

秋吉 好

△作家△



紀ノ川の近くの山へ蜜柑狩に行った。前の職場の同僚が妻が出産で郷里に帰り独りである私を誘ってくれた。河野、山本、鷺見、そして鷺見さんの息子で五才の宏。宏は河野さんにミニカーを買ってもらい電車の中ではしゃいでいた。蜜柑山まで駅から一時間ほどかかった。貯水池の奥の山合いに濃い緑の蜜柑の木が繁り大きな実が一杯なっていた。ウィークデーで人はほとんどいなかった。海の見える蜜柑山の中腹で鷺見さんの手作りの弁当をひらき酒を呑む。団体客が来て、下の広場で野の宴を始めた。声は聞こえなかったが、透き通った空気の底で鍋をつつく様まで手にとるようにわかった。秋の空は高く海の色も澄み、爽やかな風に心が洗われ、気の掛けない仲間の細やかな酒宴に気持よく酔うことができた。鷺見さんとは半年ぶりだった。彼女は同じ職場にいた夫が急病死した後に引き続き勤めるようになった。私は葬式の日之初めて鷺見さんに会った。目鼻立ちのはっきりしたふくよかな美人だった。まだ赤坊の宏を抱いていた。河野さんとは仕事が同

じこともあって仲がよく男女の関係を噂されるときもあった。「宏と一緒に風呂に入ってたなあ」と河野さんはうれしそうに言ったことがある。鷺見さんも自分の結婚や両親のことなどをあれこれ河野さんに打ち明けていた。彼女の父親が他の女と暮らしていて年がいくので籍を抜いてほしいと言ってきた。河野さんはそんな鷺見さんをよく理解した上で時として頼まれて父親の役目を演じることがあったのだらう。私はそれを知っていて、「鷺見さんが休むと、きまって先生も休むやないか」などと言ってからかった。すると河野さんはあわてて自慢の一人息子と野球に行ったとか奥さんが親戚に行ったとか理由を上げて抗弁した。私と河野さんは年が十才違った。そして山ちゃんとも十才離れていたが、年少の彼がいつも気を使っていた。私の知らない事情もよく知っていて、私の不用意な言葉を叱った。酒も私が一番弱かった。三人で二升をあけた。「鷺見さん、はよ再婚しなあかんで」と私は酔いに任せて言った。「そうやなあ」鷺見さんは蜜柑をむきながら曖昧に笑う。宏を追いかけて山ちゃんや山の斜面を登っていく。「今ひとり身やから気つけや」と河野さんが捨台詞を残して後を追う。「最初

で懲りた」と驚見さんは言う。「死んだ人のことは何も言わんけど、これで結構今は気楽なんよ」私はそんな話をしながら寝たらしく、次に目をあけると、私の肩をゆする驚見さんの顔が目の前にあった。陽は山影に入り肌寒かった。「お母ちゃん、こっちへおいで」といつの間にか可愛い騎士が来ていて驚見さんの手を引張った。私はふらつきながら立ち上がり、「宏、おっちゃんと相撲しようや」と言った。宏は私をにらんでいたが、やにわに小さな身体をぶつけてきた。私はぐんぐん真剣に押してくる宏を受けとめながら、生まれてくる子供がこんな男の子ならよいなあと思った。

## 想像力の ある人に

奥野 忠昭

△作家△



私のクラスに今、教育実習生が来ているが、つい先日から、子どもたちの遠足を計画、準備している。行く先を決めたり、どのコースを歩かせ、どこで食事をさせ、

どこで遊ばせるのかなど考えたりしている。さらに電鉄会社とは電車の交渉を、バス会社とはバスの交渉を。下見見聞やら、プリント刷りやら、子どもたちへの説明やらと汗だくで取り組んでいる。そして、「先生、遠足とはこんなにも多くの準備と、こんなにも多くの注意が必要だったなんて、初めて知りました」と感慨を漏らす。

母親にお弁当を作ってもらい、集合場所が集まるとすいっと電車が来て、行く先まで運んでくれ、適当に遊んで帰ってきたという経験しか持ち合わせない実習生たちが、遠足なんてたいした準備もなしにすいっと行けるものだと思っ

ていても無理からぬ話だが、実際それを準備する側にまわると思ってもみなかった色んなこと（たとえどこにトイレがあるのかということさえちゃんと把握しておかねばならないことなど）を知って驚いてしまう。

昨日、「小説の読みかた、書きかた」という題で、ある会合で話をしたのであるが、ただの小一時間ほどの話でも、話をするとすると、私はこの話の準備のため、五日間ほど夜の時間を費やさねばならなかった。ああいうことを話そうか、こういうことを話そうかと苦心惨憺したのである。

ほとんどの人は熱心に聞いてく

れたがなかには途中からいねむりをする人もいた。こういう人を見ると、自分の話のへたさかげんへの自責よりも、やはりその人に腹がたつ。この人は私の話のつまらなさには思いを馳せるだろうがこの話をするために私がどんなに苦勞したかなどとは決して考えはしないだろう。

フランスでは親切な人のことを想像力のある人と呼ぶそうである。親切な人とはまず他人の心を想像できる人だという意味だろう。

もし、私の話のむこうに、もっといろんなことを想像してもらえればもう少し耳をかたむけてもらえたのではないかと自分の力量をさておいて思ってしまう。

私は今、他人を読む、環境を読むということを考えている。どのようにすれば他人を読め、環境が読めるのか。

それにはいまのところ、そのものをよく観察し、そうなるまでの過程に思いを馳せ、自分の体験と結びつけ、直接話を聞いたり、調べたりするというほかい方法は見つかっていない。

ただ、できるならなんとか、私もまた想像力のある人になりたいものだ日々願っている。



□ある集いその足あと

## 鴨の子文庫

## 絵本の勉強会

大月ルリ子

『鴨の子文庫主宰』

お母さん達の集まりに行つて、子どもの読書について話をするときまつて、「どんな本がいかかわからない」と皆さん仰言います。ひとくちに「こんな本がいい本だ」ということができたことは簡単です。けれどもそれがわかるようになるためには、沢山の本を読み、子どもの反応をみたりしながら、徐々に、でも確実に評価眼を身につけていくしかありません。それ



率直な意見を述べ、絵本を1冊ずつ評価していく。

をするためにこの会はあるといつていいでしょう。

実際には五年前に二つのグループがいっしょになってきたのが今のグループです。芦屋市立図書館でそれ迄五年程続いていた主に図書館関係者で構成されていた児童文学研究会と、同じく芦屋の市民センター主催の成人学級から派生した主婦の集まりである「童話のグループ」を合併して、場所も私の自宅の一部にある鴨の子文庫に移してはじめてものです。

それ以来、メンバーにもその時どきで変動がありました。はじめは図書館の方達も多かったのですが、場所が個人の家であることや、ウィークデーの午前中という時間的な問題もあって、少しずつ、その数が減っていききました。昨今は子どもの本に興味をもつ若い人も多く、家庭文庫をやっている人やそれを手伝っている人以外にも主婦や独身女性（残念ながら男子禁制というわけではないのに男性の参加は今のところありません）が加わって、現在の有力な構成メンバーになっています。

もともと先に述べたふたつの集まりでは、それ迄に児童文学の各分野をひと通り勉強していたのですが、五年前の合併をきっかけに、絵本からやり直して、きめこまかくひとつひとつの本について話し

合い評価してゆきましようということになって、各出版社別にめばしい絵本を総なめにして検討してきました。ところが毎月第二木曜の十時から十二時まで、時には一時近くまで、ひとつひとつの絵本について、メンバーのそれぞれがいたいことをいい、芸術論から教育論、社会批判に人生論までとび出すものですから、その歩みたるやカメよりも遅く、本人達はいとも楽しく又評価眼もできてきたと自信満々なのですが、五年を過ぎた現在まだ道のりの半分もきていないといった有様です。

ま、歩みはのろくとも、私達の夢のまた夢は、いつの日にか、「これだけは、どんな子どももその成長の途上で出会っておくといひです」と自信をもつてすすめられる絵本のリストを作成し、自費出版でも何でもいから出版し、世の迷える母親達に供したい、ということです。皆、子どもの本の世界に魅せられ、絵と文学というふたつの芸術でもってつくりあげられるひとつの絵本という世界に、つきせぬよろこびを見出し得るからこそ、せつせと本屋さんへ行つては立読みに精を出し、自分の意見を書きつけたノートを抱いていそいそと山を登ってこられるのだらうと思っています。

## 刀剣 古美術



短刀、拵つき  
銘 兼貞(新刀)  
刃渡 21.4cm(7寸強)  
刃紋瓦の目  
拵/変塗 総金具銀地  
目貫這龍図銀地  
価格 ￥450,000

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作  
一カ月仕上 是非ご用命下さい。  
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀 剣 元町美術  
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

## オリエンタル レディスクラブ

会員募集中



年会費：お一人 5,000円

割引：オリエンタルホテル、六甲オリエンタルホテル  
での宿泊、飲食の際サービス料10%割引いたし  
ます。その他いろいろの特典がございます。

特別催：随時、会員のための特別催しをいたします。

お問い合わせ

オリエンタルレディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 オリエンタルホテル内

☎ (078)331-8111

□ずいそう□昔の昔のはなし□

# さらば 聚楽館

竹中 郁（詩人）

いよいよ聚楽館が取りこわされる。六十年にわたって神戸市民が親しんできた建物と名称とが消え去るのだ。現在の建物は昭和七年くらいに出来た二代目で、初代の建物が開場したのは大正二年か三年かだった。

私は一九〇四年（明治三十七年）生れだが、今の新開地の通りが整備されて、東川崎町から松本通りまで一直線になったばかりの光景が眼にうかんでくる。もともと、旧湊川が流れていたのを、水は会下山の下をトンネルで長田神社前へ流してその跡を埋めたて、両側の土堤をならして新しく土地面積を拓いたものだ。それゆえか、われわれは「湊川新開地」という名称が正式なのにかかわらず「ドテへ行こう」とか「ドテの活動写真をみに」などといった。

聚楽館のできたころは、もう新開地という名称が定着していて「ドテ」の勢力はうすれていた。明治と大正との境目ころ、今のガス会社の四辻から川上へ向って歩くと、左側に湊座とか松本座、朝日館、錦座、日本館、帝国館と芝居や映画を掛ける小屋（つまりシアター）がならんでいた。錦座が一番新しく、出来たてのとき二階の軒のぐらりに玉乗りクラウンの点滅電飾をつけていた。それらのシアターが出来るまで、川砂の山の盛上りがありここにあって、私は尻をこすって迂り台を這うごとく遊んだ記憶がある。そこらに並木の大きな松があった記憶は、どうも私にはない。右側には骨組の大ぶりの相生座があって、のちに天中軒雲右エ門の正雪張りの長髪をふりたてて唸るのをここで聞いたが、日本館や帝国館の

建つ前の空地に立つと、相生座にたつぷりと西日の当たっていた姿も眼底にのこしている。だからつまり、相生座が先ず相生町（神戸駅近くの名町）から移ってきてそのあと、楠公社内にあった水族館を移築して帝国館ができ、そのとなりの日本館と建つたのだろう。

聚楽と名附けたのは誰か分らないが、川を埋めて土地を拓いた会社とは別の会社が、当時の田村市郎や、直木政之介、小曾根一郎、滝川辨三らの実業家によって設立されて、聚楽館は目標を東京帝劇にしぼって出立した。東京の帝劇（今の帝劇は場所と同じだが、あの建築は二代目だ）の小型を目指したにしても、いずれお手本は欧米のどこかのをさがして、写したにちがいない。舞台のタツパが高く、イオニア流のフレイム飾り。舞台ばなの両脇のロオジュなど十九世紀ヨーロッパ風劇場そっくりだった。舞台かぶりつきの真上には南薫造（当時文展の人気作家で岡山県人）の油絵具で描いた西洋天女が雲上を翔んでいる四枚の絵がアーチ形パネルにはめ込まれ、二階と平場の一等席はあけぼの色の布張りだった。劇場内部の壁はうすみどりて統一されていたから、その要素々々に金箔張りが使われたのは、いっそう華麗な気分をそそった。

第一次大戦で連合国側に立った日本は、しこたまあぶく銭を儲けた。聚楽館もその余波の一つなのだ。鉄筋コンクリートは大正十二年以後普及したが、当時は煉瓦積み鉄骨梁が普通だ。三階建洗出しセメント化粧。外観は質素といった方が当たっている。とにかく千二百人く

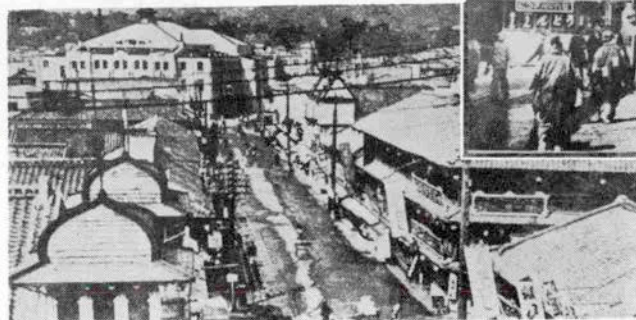


らしいの収容力とみえたが、小じんまりと見よい聞きよい劇場だった。こけら落しには東京帝劇専属の先代尾上梅幸、先代松本幸四郎その他花形的一座で幕をあげた。中



にぎわいをみせる新聞地  
中央遠くにみえるのが聚楽館  
(昭和10年)

まだ舗装もされていない新聞地  
聚楽館が演劇場として開館した  
ばかりの頃 (大正2年)



でも「茨木」が出て、梅幸の扮した網の伯母の演技のすこみに少年の私はふるえ上った。こわかったのだ。

二階正面の外側には電車通りに臨んで矩形の食堂があり、壁には西陣織が張ってあった。豊公このみの五三桐の金糸で織出しの、つまり聚楽の名に因んだ凝りようだ。その卓で幕の内ベンとうやその他のをたべさせた。一階の西側にたっぷり取った廊下は、西庭へそのまま出られるようなドア窓が大きくとってあって、一隅にビヤスタンド、床面には丸い卓が七、八個といった具合。

エルマンとかクリイラーとか、ハイフェッツとか、世界一流の提琴家、アンナパブロワなどの舞踊といったときは、神戸在住の欧米人が着飾って来ていて、この西の廊下を二ばいにした。ここで際立っていたのは、美男美女そろいのエリオン家の五人兄妹、在留外人フットボールで鳴らしたオリバーエバンスの息子、フランスのオールシユルヌ領事とか美髯のチェックとか。いつの間にか私は見覚えてしまった。それほど神戸という土地はせまい世間だったともいえるわけだ。エリオン兄妹の末妹は、八十歳をこしてまだ健在。北野天神の東の異人館を維持しているが、近ごろの日本人は行儀わるくなつたと、例の異人館さわぎについてこぼしている。私はいつかこの人から電話をもらって、四十数分の長電話にへたばつたことがある。あちらは孤独のうさばらし癖から平気らしく、実に見事な日本語で延々とつづく。弟さんが尿毒症で亡くなった話のくだりで「うちではたとえ兄弟でも、おへそから下の話はしません。それがもて、つい弟の病氣を見のがしました。今から思うと無念です」と、ちよつと日本人でも真似られぬいいまわし。聚楽館であんな五人兄弟は花でしたね、といっておだてると、まあ嬉しい、あんた見ていくればったの、とくる。

ここまで書いて、気がついた。私なんか書くよりも、この劇場を作った人の息子さんが御影で健在だ、詳しいことはあの人に限る。その名は武岡四郎。お父さんは武岡豊太といって、聚楽館の専務が社長だった。

# 岐路に立つ

田島 博

△神戸市外国語大学教授▽

神戸市立外事専門学校は、昭和二十一年六月の創立からちょうど一年後、当初の大開通から、新開地、三宮をへだてた現在の小野柄小学校の校舎に移転した。無我夢中ですごしたものの、恐ろしくあわただしい一年間であった。

校舎の移転だけでも、設立間もない学校にとっては難儀なことだが、産みの親であった中井一夫市長が二月に退陣して小寺謙吉氏が新市長に就任し、寄る辺ない孤児のような境遇に置かれてしまった。そこへ、いわゆる六三制による学制改革の波が押しよせてきたのである。小学校六年、中・高校各三年、大学四年という新制度のうちには、専門学校の占める位置がない。大学に昇格するか、それができなければ、廃校よりほかに道がないわけで、なんともきびしい選択を迫られたものである。殊に神戸外専は、発足後数カ月、生徒は一年生がいるだけ、教員の数も十数名にすぎず、校舎もまだ仮りのもので、最終的にはどこに落ちつくことになるのか、目途も立っていない。専門学校として完成させるだけが精々で、大学昇格など、誰の目にも無理な相談としか映らなかつた。だが、その無理を敢て通さなければ廃校が待っている。金田近二校長をはじめ、教職員、生徒は、まさに存亡をかけた昇格運動に立ちあがった。文字通り東奔西走する金田校長の姿には頭のさがる思いだったが、生徒た

ちの熱意にも胸を打たれた。

その頃、生徒の数は二百五、六十人で、年令は十七歳から三十三歳までのひらきがあり、復員軍人もかなりいた。軍服を着ている者、毛布を改造したえたいの知れない外套をまとっている者、服装はまちまちで、押しなべて見すばらしく、雑然とした教室風景であった。私も戦争中に召集されて兵卒だったことを知ると「このあいだまでは、先生が私に敬礼するほうだったんですなあ」と感慨深げにいう元将校の生徒もいて、教師としては、さっぱり氣勢があがらなかった。そんなことをいう生徒のいる教室以外の教室でも、私と同年輩の生徒が必ず何人かおり、心許ないかぎりだった。

ところが、昇格運動がはじまると、様子が一変した。

生徒たちは、市の理事者、市会の有力議員を個別に訪問し、街頭に出て、市会に訴えるための署名を集めた。運動が高まるにつれて、生徒と教職員のあいだに連帯感がつよまり、親密の度が急速に増した。私も、教室では以前のような気おくれがなくなり、生徒の信頼をあつめているような感じがして、快適な授業ができるようになった。この時の思いは、私には貴重なもので、この生徒たちにおぼえた身近かな親しみの深さは、爾後三十余年、外専、外大を通じてどの年度の学生に感じるよりも大きい。小野柄校舎に移った翌年の一月には、われわれの努





G I にも呼びかけたり熾烈だった昇格運動。右は長田付近で。

力がみのつて、市側の方針は、大学昇格の方向にほぼきまっていた。その間、市会の内外で援助してくれた人々の好意は、身にしみてありがたかった。とりわけ、昇格準備のために市が設けた制度改革調査会の委員飛田昌久市会議員の尽力にはひたすら感謝するよりほかにない。

さらに一年後の昭和二十四年、現学舎に移って、神戸市外国語大学が発足したのであるが、昇格運動に熱意をもやしていた外専第一回生の卒業式は、移転の直前、小野柄校舎でおこなわれた。引きつづき外大に進学した十数名をのぞいて、大多数の生徒は、移転先の学舎も、そこで開学した大学も見ることなく社会に出ていったわけだ。外専三年間將校服で押し通し、昇格運動の先頭に立っていた秋宗久夫君もその一人である。現在滝川高校で教鞭をとっているが、卒業以来引きつづき同窓会会長をつとめ、外大の卒業式、その他の行事には必ず顔を見せる。当時の情熱は、いまだにおとろえていないようだ。機関銃のような早口の英語で私をやりこめていた小野和正君は、いま第一中央汽船の営業部長で、先日東京で出合ったが、相変らずの早口でましく立てられた。校庭でよく模型飛行機を飛ばしていたロシア語科の関川栄一郎君は、いまや著名な航空評論家で、飛行機に関連した事件があるたびに、テレビで顔が見られる。杉本竜太郎君は、外専卒業後阪大の英文科に入学し、故竹友藻風先生に師事していた。同先生には、私も学生の頃教えを受けており、杉本君は、いわば私の相弟子になったわけだ。阪大卒業後は、同大学の助手に残り、失明された竹友先生の手足となってお世話をしていたが、後に大阪市大教授となり、現在は大阪府立女子大教授である。赤松光雄君は、外専二年生のとき、高専英語弁論大会で近畿の第一位となり創立後日の浅い外専のために大いに気を吐いてくれた。現在は母校外大の教授である。

そのほか、私にとって最も印象深い外専第一回生で、各界の第一線に活躍している者は大勢いる。彼らは、いま脂の乗りきった年令なのである。

大きな利息が何より魅力

## 住友の貸付信託

- 元 金 保 証
- 元金保証
- お預け入れは1万円単位
- 募集締め切り日（毎月20日）  
より1年以上たっていれば期間に応じた利回りで中途換金もできます。

積立て貯蓄の決定版

## 虹の通帳 積立てコース

- お預け入れは1回5,000円からいくらでも
- 期間は5年以上で、自由に決められ満期日にまとめて受け取れます。
- ボーナスで積み増しをしたり、積み立てを休んだり、いつでも予算に応じて自由にお預け入れができます。

お近くの銀行、郵便局から  
も申し込めます

専用の申込用紙をお送りしますのでご請求下さい。



「普通預金、定期預金などの預金」「保護金庫」  
「不動産の売買の仲介」「住宅ローンなども取扱  
っておりますのでお気軽にご利用ください。

## 住友信託銀行 神戸支店

〒650

神戸市生田区元町1丁目 大丸西向い

☎ 078 (321) 1 1 3 1(大代表)

# 下水の再利用

諸岡 博熊

〈神戸市企画局参事〉

都市における水問題は次第に厳しさを増してきている。需要の増大につれて、水資源開発の困難さが加わって長期的にみると絶対的な不足が予測されている。今年のように降雨の少ないとき節水のPRや時間給水で切り抜けたとしても生活用水、工業用水などの水需要には、将来不安がみられる。

そこで注目されるのが、下水の再生利用であって、海外では、数十年の実績がありながら、わが国では未だに消極的である。それは下水再生利用がなお技術開発の途上であって、コスト的にも水質的にも問題があるからである。とはいえ、わが国にこの技術を導入すると①水源が手近に得られるため導水費が安い、②水量が豊富で安定している、③再生処理費が一般的にいえばあまりかからないことなどの利点がある。したがって、再利用を促進するために、再生処理と再生水利用の技術開発に努めて、水質との関係を明確にして、コストを下げていく必要がある。

一方排水、排泥処理など再生処理における二次公害、雑用水道における公衆衛生、とくに、ウィルス及びクロスコネクションなどの問題にも対策を考慮する必要がある。いずれにしても、再利用造水場から個々の需要家へのパイピング経費がコストに響いているといえよう。

× × ×

下水再生水の用途として考えられるものは、工業用水と雑用水（水洗便所用水、洗車用水、散水、消防用水）が主なもののだが、その他レクリエーション用水、灌漑用水などに使用される。とくに、新幹線東京基地では、下水処理場か

中水道水質基準提案値

項目	基準	基準	基準	基準	基準
pH	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
全硬度 (ppm)	300以下	300以下	300以下	300以下	300以下
カルシウム硬度 (ppm)	0.2以下	0.2以下	0.2以下	0.2以下	0.2以下
マグネシウム硬度 (ppm)	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
硫酸根 (ppm)	500以下	500以下	500以下	500以下	500以下
塩素 (ppm)	0.3以下	0.3以下	0.3以下	0.3以下	0.3以下
アンモニア (ppm)	0.3以下	0.3以下	0.3以下	0.3以下	0.3以下
硝酸根 (ppm)	20以下	20以下	20以下	20以下	20以下
亜硝酸根 (ppm)	100以下	100以下	100以下	100以下	100以下
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
コバルト (ppm)	—	—	—	—	—
モリブデン (ppm)	—	—	—	—	—
セレン (ppm)	—	—	—	—	—
ニッケル (ppm)	—	—	—	—	—
クロム (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—
アンモニア (ppm)	—	—	—	—	—
硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
亜硝酸根 (ppm)	—	—	—	—	—
銅 (ppm)	—	—	—	—	—
鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
亜鉛 (ppm)	—	—	—	—	—
マンガン (ppm)	—	—	—	—	—
鉄 (ppm)	—	—	—	—	—



# ポエム・ド・ユウベ

構成・絵——早川 良雄

## 野火

三浦 照子

闇のなかに はしるものがある  
あれは なんの炎

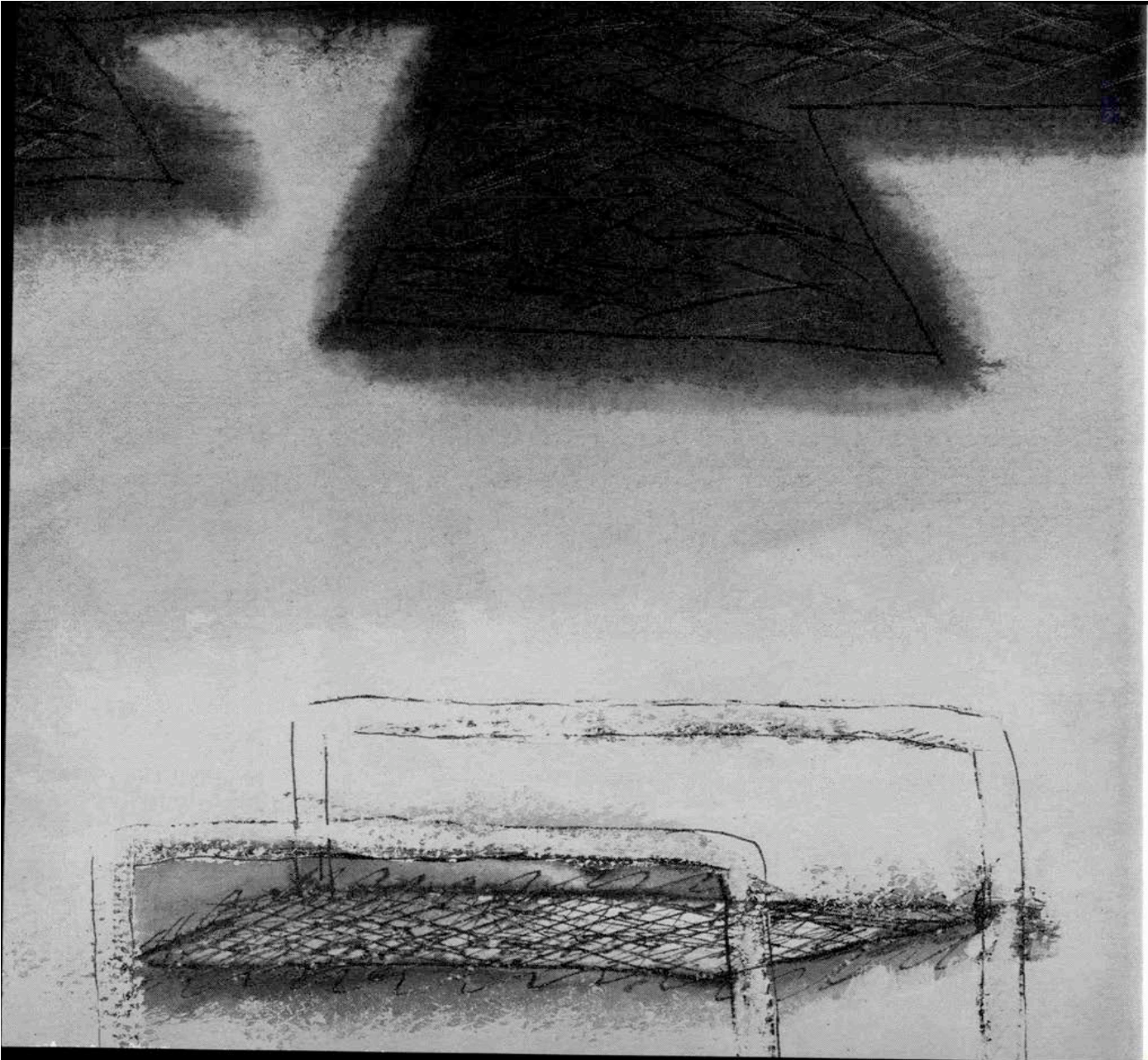
かわしたよるの重みに目醒めて  
うつつのにくの想いをさがせば

わがままな夢のように

時わかたぬ 幻の腕で  
妖気のように抱きしめてくる

やさしいときを残しておいてね  
想いを紡ぐ 胸のうえに

よるを焼く 野火の  
まだ消え去らぬ闇のなかに



# 作品

江頭 越子

あなたの染めた

織った

縫った

ものの前でたじろいでいます

一刷毛

一幾

一針

のくり返しくり返し

思いと

工夫と

時を込めて

根気よく作りあげたもの

あなたの声のない言葉がふさがって

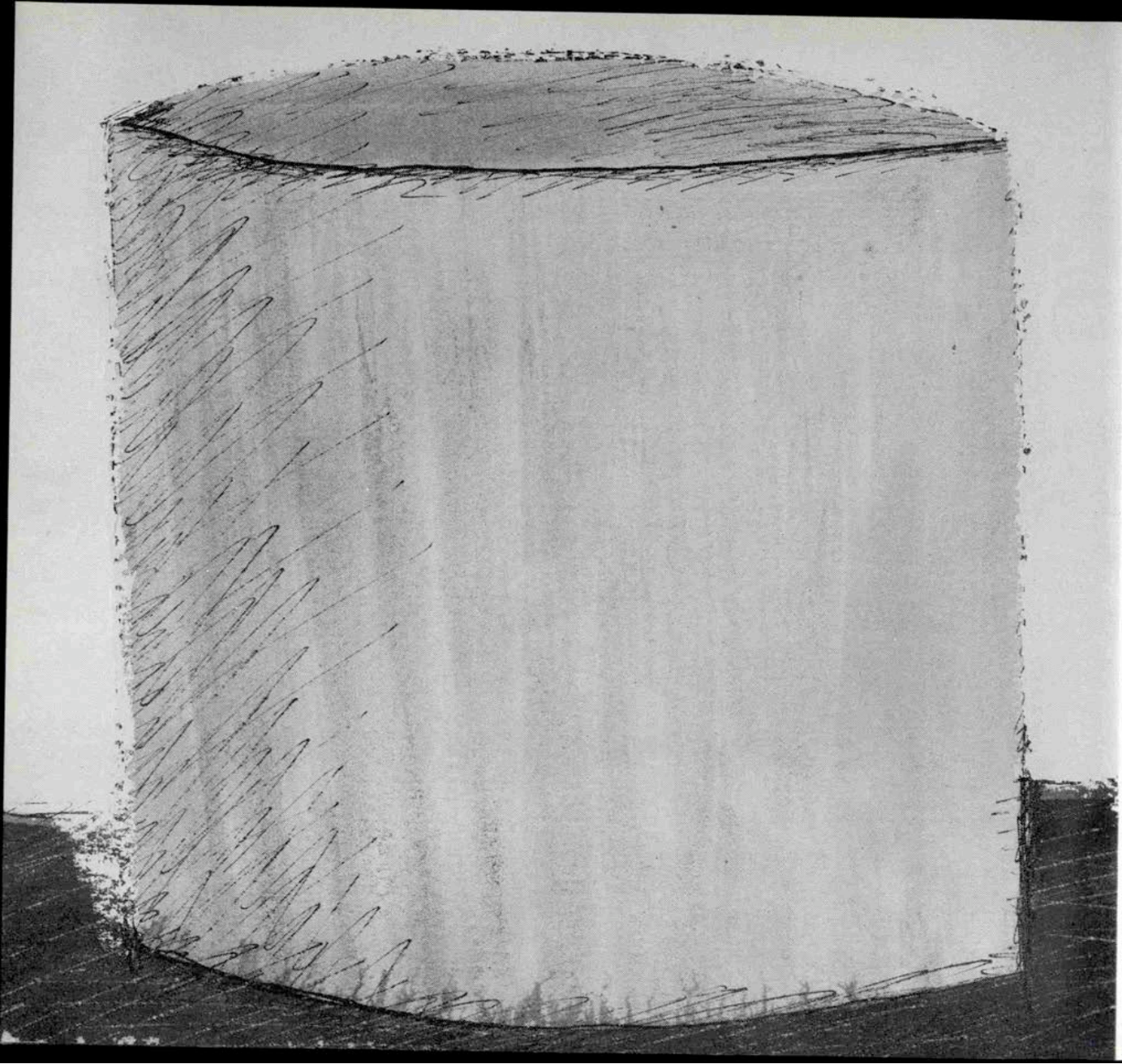
ハサミが入らない

誰にも出来て出来得ない

積み重ねのすごさ

それだけであなたはそこに在る





# ひとに

安永 稔和

雨あがりの水たまりをのぞきこむと  
小さな空があちからからのぞいていて  
すげない顔でのぞいていて。

となりの水たまりをのぞいても

やっぱり小さな空がのぞいていて

水たまりの数だけ小さな丸い空が光っていて  
そしらぬ顔で光っていて。

空おそろしいといおうか

空々しいといおうか

それはもう。

●

雨あがりの水たまりをのぞきこむと  
あなたがあちからからのぞいている。

ぼくがあわててあらぬこと口走ると

あなたは手を叩いてよろこんで

あつというまにぼくを走り抜ける。

あわてて一歩踏み出すと

水がはねて

鳥が飛んで

靴が濡れて

あなたはもう。



